



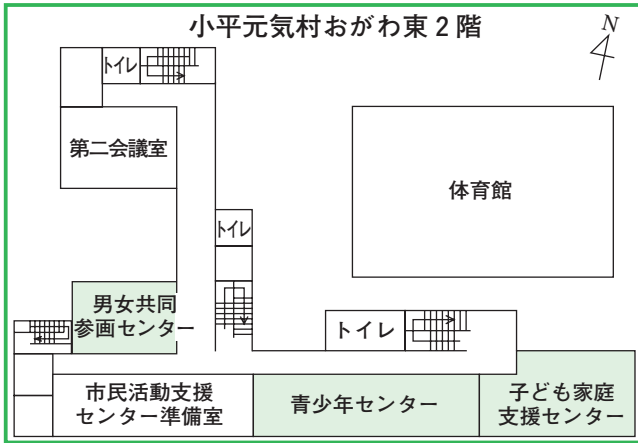
平成16年(2004年) 1/20 第1033号

発行:小平市 編集:企画財政部 広報広聴課 〒187-8701 小平市小川町二丁目 1333番地 ☎042(341) 1211(代表)

市報 こだいら

平成16年1月1日現在			
◎住民基本台帳登録数			
男	87,984人	前月比	18人増
女	87,895人		90人減
計	175,879人		72人減
世帯数	76,729世帯		47世帯減
◎外国人登録数			
			3,967人

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222



子ども家庭支援センター 青少年センター 男女共同参画センター オープン



1月29日(木)の午後1時から「小平元気村おがわ東」(小川東町四丁目2番1号)の2階に、「子ども家庭支援センター」、「青少年センター」、「男女共同参画センター」の3施設がオープンします。

◆子ども家庭支援センター
子どもと家庭に関する相談、子育て中の親子の交流、子育て情報の提供など、子育てを総合的に支援します。

◆青少年センター
青少年の自主的な活動と交流を図る場として、中学生、高校生を中心とした若者が自由に利用できる施設です。雑談や悩みごとの相談ができる場所、音楽を聞いたり、本を読んだりする場所もあります。

◆男女共同参画センター
男女共同参画社会の形成を促進するための、情報収集や施設の提供を行います。市内で、活動している団体や個人が、交流を図る場として利用することができ、利用できる団体は、あらかじめ登録が必要です。

休館日 火曜日、年末年始
開館時間 午前9時～午後9時
▽日曜日、祝日：午前9時30分～午後6時

利用対象 市内在住・在学の青少年とその保護者、青少年活動を行っている団体

問合せ 青少年センター ☎042(348)2112、相談専用 ☎042(348)2110、FAX ☎042(348)2114、青少年・男女平等推進課 ☎042(346)9618

1月29日(木)の午後1時から「小平元気村おがわ東」(小川東町四丁目2番1号)の2階に、「子ども家庭支援センター」、「青少年センター」、「男女共同参画センター」の3施設がオープンします。

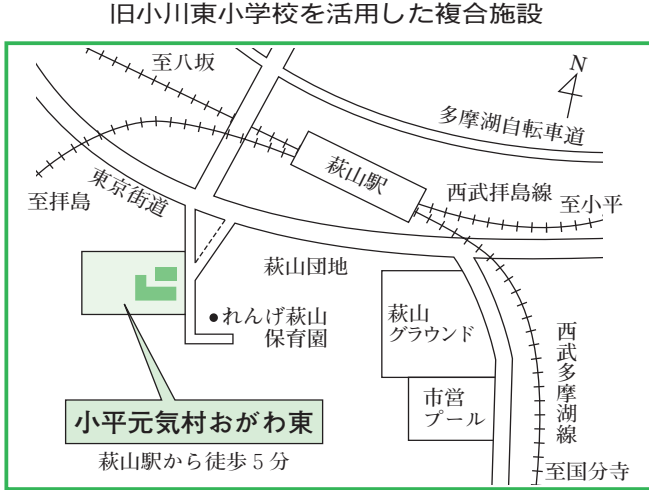
◆子ども家庭支援センター
子どもと家庭に関する相談、子育て中の親子の交流、子育て情報の提供など、子育てを総合的に支援します。

◆青少年センター
青少年の自主的な活動と交流を図る場として、中学生、高校生を中心とした若者が自由に利用できる施設です。雑談や悩みごとの相談ができる場所、音楽を聞いたり、本を読んだりする場所もあります。

◆男女共同参画センター
男女共同参画社会の形成を促進するための、情報収集や施設の提供を行います。市内で、活動している団体や個人が、交流を図る場として利用することができ、利用できる団体は、あらかじめ登録が必要です。

休館日 火曜日、年末年始
開館時間 午前9時～午後10時

※問合せ先は、青少年センターと共通(相談を除く)。



市は、平成14年度に3か年の計画期間が終了した第2次行財政改革推進プランに引き続き、平成15年度からは新たに第3次行財政改革推進プランを策定し、さらなる行財政改革の取り組みを進めることとしました。これまで第1次・第2次プランの対象期間(平成14年度)の1項目です。

また、第3次プランで初めて設定した当該年度の目標値は、企業会計方式による財務分析手法として、バランスシート、行政コスト計算書を掲載しました。

◆明日の小平にむけて
小平市の課題や財政状況をふまえて、行財政改革の具体的な施策として第3次行財政改革推進プランの実施項目を掲載しました。

※小平市財政白書は、市役所1階市政資料コーナー、図書館、小平市ホームページでご覧になれます。また、市政資料コーナーで1冊400円で販売しています。

問合せ 財政課 ☎042(346)9504

市は、平成14年度に3か年の計画期間が終了した第2次行財政改革推進プランに引き続き、平成15年度からは新たに第3次行財政改革推進プランを策定し、さらなる行財政改革の取り組みを進めることとしました。これまで第1次・第2次プランの対象期間(平成14年度)の1項目です。

また、第3次プランで初めて設定した当該年度の目標値は、企業会計方式による財務分析手法として、バランスシート、行政コスト計算書を掲載しました。

◆明日の小平にむけて
小平市の課題や財政状況をふまえて、行財政改革の具体的な施策として第3次行財政改革推進プランの実施項目を掲載しました。

※小平市財政白書は、市役所1階市政資料コーナー、図書館、小平市ホームページでご覧になれます。また、市政資料コーナーで1冊400円で販売しています。

問合せ 財政課 ☎042(346)9504

「小平市財政白書」を発行

市の財政状況、市が抱えている課題について、市民の皆さんにご理解いただき、明日の小平について市民の皆さんとつしよに考えていきたいという思いから、「小平市財政白書」を作成しました。

◆小平市財政の概要と小平市の課題
過去10年間の歳出決算額の推移を明らかにするとともに、市の課題として次の7つをあげました。

▽地方分権と三位一体改革

新たな行財政改革プランのスタート

市では平成14年度に3か年の計画期間が終了した第2次行財政改革推進プランに引き続き、平成15年度からは新たに第3次行財政改革推進プランを策定し、さらなる行財政改革の取り組みを進めることとしました。これまで第1次・第2次プランの対象期間(平成14年度)の1項目です。

また、第3次プランで初めて設定した当該年度の目標値は、企業会計方式による財務分析手法として、バランスシート、行政コスト計算書を掲載しました。

◆明日の小平にむけて
小平市の課題や財政状況をふまえて、行財政改革の具体的な施策として第3次行財政改革推進プランの実施項目を掲載しました。

※小平市財政白書は、市役所1階市政資料コーナー、図書館、小平市ホームページでご覧になれます。また、市政資料コーナーで1冊400円で販売しています。

問合せ 財政課 ☎042(346)9504

平成15年9月末現在の実施状況

9年度(14年度)で約30億円の削減を図り、職員数も徹底して抑制してきました。第3次プランからは、そうした「量」の抑制にとどまらず、より高い「質」を追求し、新たな行財政需要や社会経済情勢の変化に柔軟に対応した取り組みを積極的に進めることとしました。

市では、半年ごとに行財政改革の進捗状況調査を行っています。平成15年9月末現在の実施状況は次のとおりです。

第3次プランに掲げられた55の実施項目のうち、約4分の3に当たる42項目は、ほぼ予定どおりに進んでいます。予定よりやや遅れている項目は、「エコダイラ・オフィス計画の推進」、「行政カードによる提供サービスの多様化」、「経常収支比率の改善」など13項目です。また予定より明らかに遅れている項目は、「勤勉手当への成績率の導入」の1項目です。

また、第3次プランで初めて設定した当該年度の目標値は、企業会計方式による財務分析手法として、バランスシート、行政コスト計算書を掲載しました。

◆明日の小平にむけて
小平市の課題や財政状況をふまえて、行財政改革の具体的な施策として第3次行財政改革推進プランの実施項目を掲載しました。

※小平市財政白書は、市役所1階市政資料コーナー、図書館、小平市ホームページでご覧になれます。また、市政資料コーナーで1冊400円で販売しています。

問合せ 財政課 ☎042(346)9504

分野	取組項目数	難易度(平成15年度目標)			進行状況		
		☆	☆☆	☆☆☆	ほぼ予定どおり	やや遅れている	明らかに遅れている
新たな行政需要に対応するための施策の見直し	24	5	15	4	17	7	0
適正規模の組織体制の確立	5	4	1	0	5	0	0
職務に応じた人事制度と人材育成策の充実	7	4	3	0	5	1	1
健全な財政運営の確立	12	4	6	2	9	3	0
行政、市民および企業の三者の関係の再構築	7	3	4	0	6	1	0
計	55	20	29	6	42	12	1

現在の主な成果

平成15年度9月末現在の実施状況は、約4分の3に当たる42項目は、ほぼ予定どおりに進んでいます。予定よりやや遅れている項目は、「エコダイラ・オフィス計画の推進」、「行政カードによる提供サービスの多様化」、「経常収支比率の改善」など13項目です。また予定より明らかに遅れている項目は、「勤勉手当への成績率の導入」の1項目です。

また、第3次プランで初めて設定した当該年度の目標値は、企業会計方式による財務分析手法として、バランスシート、行政コスト計算書を掲載しました。

◆明日の小平にむけて
小平市の課題や財政状況をふまえて、行財政改革の具体的な施策として第3次行財政改革推進プランの実施項目を掲載しました。

※小平市財政白書は、市役所1階市政資料コーナー、図書館、小平市ホームページでご覧になれます。また、市政資料コーナーで1冊400円で販売しています。

問合せ 行政課 ☎042(346)9756



学校の授業で活動する 学校支援ボランティア

▽市民サービス向上のため、休日窓口の開設について庁内で検討を行い、中間報告をまとめました

▽学校支援ボランティアと連携を図り、市立小中学校で、クラブ・部活動への支援を受けるなど地域に開かれた学校づくりを進められた(平成15年度上半期で学生数1千3百74人、社会人1千86人のボランティアが協力)

なお、遅れている項目については、今年度末に向けて、各推進担当課で取り組みを進めています。

市では今後とも、事務事業の見直しなどの内部努力を進め、効率的で質の高い行財政運営に努めていきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。